

第1学年〇組 社会科学学習指導案

本校研究主題

き(聴・訊)きあい・学びあう教室づくり ～生徒一人ひとりの学びを保障する授業をめざして～

教科研究主題

学び合う喜びを引き出す学習指導のあり方

1. 単元名 稲作と「くに」の始まり

2. 単元(題材)について

本単元は、中学校学習指導案の歴史的分野の内容(2)古代までの歴史ア「日本列島における農耕の広まりと生活の変化」に当たる。ここでは、「日本の豊かな自然環境の中における生活が農耕の広まりとともに変化していったことに気付かせる」ことを主なねらいとしている。本単元は狩猟・採集中心の生活から農耕中心の生活へ変化したこと、大陸から稲作や金属器が伝来し、共同作業による指導者の出現。その際、争いを通じて小さなムラからクニができ、やがて邪馬台国のように魏に朝貢するようなクニがあらわれる過程を理解させたい。

日本の社会の変化について注目すべきことは、縄文時代から弥生時代にかけての変化である。旧石器時代から縄文時代にかけて、人々は狩りや採集による生活をしており、磨製石器や縄文土器など様々な道具が作り出されていったものの、人々の生活は不安定であった。一方、弥生時代になると、大陸から伝わった新しい文化が人々の生活に大きな影響を与え、農具や土器などにも変化をもたらした。また、鉄器を含めた金属器の普及とともに、農業技術が発達し、稲作などの生産が高まり、人々の生活も豊かになっていった。しかし、稲作の広がり、人々の定住生活をうながすと同時に、貧富差・身分差といった新しい社会のしくみをもたらした。このように、縄文時代から弥生時代にかけての人々の生活や文化・社会のしくみの変化を当時の遺物や遺跡などをもとにしながら多面的・多角的に考察させることで、縄文・弥生時代の歴史的な位置づけを人々の生活や文化と関連させながら考えさせたい。

3. 研究主題や教科の課題と授業との関連

27年度の研究主題は「学び合う喜びを引き出す学習指導のあり方」である。26年度に引き続き、全体研究主題に基づきコの字型による学び、グループによる学び合いを意識した課題設定や題材に迫っていける「モノ」としての資料準備に心がけた。特に1stステージで押さえる「学び」と、2ndステージでの「ジャンプを意識した課題設定」などについて研修を行った。4月、子どもたちは、これまでの各教科の取り組みもあり、男女ともに語り合うことには少しずつ慣れてきている。それだけに、適切な課題を出し、学びを引き出す資料を用意できれば、訊きあい、学びあう姿を導き出せる可能性が高い子どもたちである。「真正の学び」が各授業で見受けられるように、社会科としての専門性を高めながら、毎月の実践を重ね、授業の質を高めていきたいと考える。少しずつの積み重ねであるが、本年度の研究主題とした。

本年度の研究主題の仮説は(1)コの字、グループで学び合うことに適した課題を提示することで、子どもたちは学び合いたい意欲を持てるだろう。(2)子どもたちの発言をつなぐことを意識し、すり合わせることによって学びを深められるだろう。(3)子どもたちの思考を揺さぶるモノ(資料)を提示すれば、モノから学ぶ喜びを感じながらより深い学びに迫ることができよう。の3つである。

「学びの共同体」の良さを教師自らが体得していくには、実践の積み重ねが必要である。昨年度までの流れを活かし、校内研修を活用し、他教科の先生方と共に子どもたちの学びの様子を見あい、改善を図っていききたい。また、常に「学びを創造する」という気持ちを持って取り組む1年間でありたい。

本単元でも、具体的には、授業での課題を吟味し、「資料」が子どもの能動的な思考や思考の深化に十分迫っていけるものであるのか、教師の発する言葉は十分に練られた必要最低限のものになっているのか、子どもたちの発する声に敏感でいられたのか等、授業後の検証を行い、よりいっそう研究主題にせまっていきたい。

4. 生徒の実態（男子○名、女子○名、計○名）

本時の授業を行うにあたり、簡単なアンケート調査を行った。以下がその結果である。

【実態調査】 調査実数○名

1. 社会科ではどのような授業が好きですか。 A 先生が話す授業 ○名 B 自分が調べる授業 ○名 C 自分の考えを発表する授業 ○名 D 映像、モノなどを使った授業 ○名
2. どのような事が苦手ですか。 A 自分で調べること ○名 B 自分の考えをもつこと ○名 C 自分の考えを発表すること ○名
3. 中国と西アジア、ヨーロッパなどを結ぶ絹の道を何といますか。 シルクロード ○名 赤道 ○名 わからない ○名
4. 1世紀初めにイエスがおこした宗教を何といいますか。 キリスト教 ○名 わからない ○名
5. 弥生時代について知っていることを選びなさい。（複数回答あり） A 稲作がひろまった ○名 B 銅鐸、銅剣などの金属器が伝わった ○名 C 高床倉庫を使って貯蔵していた ○名 D 弥生土器は用途によって使い方が違った ○名 E 貧富の差がうまれた ○名 F 争いが生まれた ○名 G 村から小さく（国）が生まれた ○名 H 邪馬台国の卑弥呼が活躍した ○名 I 卑弥呼が魏に使いを送った ○名 J 金印には「漢委奴国王」と書かれていた ○名
6. 古墳文化について知っていることを選びなさい。（複数回答あり） A 古墳は支配者の墓であった ○名 B 大王を中心に大和政権をつくった ○名 C 朝鮮半島・中国との交流があった ○名 D 渡来人が優れた技術を伝えた ○名 E 漢字、儒教、仏教が伝えられた ○名

- 7 縄文土器と弥生土器の違いはどのようなことか、書いてください。
 わからない・・・・・・・・・・ ○人
 文様があるのとないの・・・・・・・・○名
- 8 縄文時代と弥生時代の違いはどのようなことか、書いてください。
 わからない・・・・・・・・・・ ○名
 生活が変化した・・・・・・・・・・○名

弥生時代の特徴をとらえている子どもたちは数多くいた。しかし、土器の用途の違いや縄文土器と弥生土器の違い、縄文時代と弥生時代の違いも理解できていない子どもたちが多かった。そのため、本時では土器を実際に見て縄文土器、弥生土器の違いをきっかけにして、縄文時代と弥生時代の生活の変化を理解させたい。また、アンケートの中で稲作の広まったこと、争いが生まれたこと、小さくなく（国）が生まれたことの重要な三点を理解はしていたが「貧富の差が生まれた」ことを知らない子どもたちが多かった。そのため、稲作の広まりから小さくなく（国）が生まれるまでの過程を理解できていないと思われる。稲作の広がりには、人々の定住生活をうながすと同時に、貧富差・身分差といった新しい社会のしくみをもたらしたことも子どもたちに気付かせたい。

普段の授業の様子は意欲的に取り組み、先生の話もよく聞いている。調べ学習は自ら進んで学んでいる様子が見受けられる。アンケートの結果を見ても、好きな授業では「自分が調べる授業」が10名と一番多かった。普段授業やアンケートからも子どもたちの主体的に学びたいという思いが感じられる。子どもたちが自ら課題を見つけられるような学習目標の提示や問いかけを行い、さらに主体的な学習意欲を高められるようにしたい。そこで、学校教育指導の指針にある「自ら学び、思考し、表現する」の育成の観点から『思考し、表現する力』を高める実践プログラム、にのっとり、「見出す」「調べる」「深める」「まとめあげる」の授業構成を行っていききたい。また、「ちばのやる気」学習ガイドを用いて基礎・基本の定着も図っていききたい。

5. 単元の指導と評価計画（4時間）

時配	学習内容 目標	評価	
		評価規準	評価の方法
1	東と西をつなぐ道	<p>中国で統一国家が成立した後、ローマ帝国との交通路が開かれたことを理解するとともに、朝鮮半島の国々の動きに倭(日本)も関わっていることに気づく。 (思考・判断・表現)</p> <p>ローマ帝国では、実用的な文化が発展したことや、西アジアでおこったキリスト教が国教となり、やがてヨーロッパに広まっていったことを理解する。 (知識・理解)</p>	<p>ワークシート</p> <p>小テスト</p>

2 本時 1/2	稲作と「くに」 の始まり	弥生時代の人々の暮らしは、縄文時代と比べてどの ように変化したのかを、遺跡や出土物から考える。 (思考・判断・表現) 稲作の広まりによって貧富や身分の差が生まれ、くに (国)の形成が進んだことを、邪馬台国を例に理解する。 (知識・理解)	ノート
1	東アジアのなかの 大和政権	古墳の規模や分布などから、近畿地方で大王を中心と する大和政権が成立し、各地に勢力を拡大したことを理 解する。(知識・理解) 大和政権が朝鮮半島の国々との関係を深め、盛んに交流 した理由について、渡来人の果たした役割との関わりか ら考える。(思考・判断・表現)	ワークシート ワークシート

6. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・縄文時代と弥生時代の暮らしの違いについて、絵や写真などから読み取って整理できる (技能)
- ・稲作の広まりによる富の発生が、階級社会と、くに(国)の形成を促したことを理解できる (知識理解)

(2) 本時の展開

過程	時配 (分)	学習活動と内容 (・)	学習 形態	教師の支援 (・) と評価 (○)
導入 課題 提示	3	・お椀3種類を提示して、何が 違うか、考えさせる。 ・学習課題をとらえて、本時の 学習の見通しをもつ。	全体	・普通, 食洗器対応, 電子レンジ対応
	5	道具の変化から人々の暮らしはどう変化していったのだろうか		
	10	・土器の違いや用途を、実物を 見て考える。 ・学芸員の方からの話orビデオで 検証する	班 全体	・土器を壊さないように注意深く観察す る。 ・違いや用途はワークシートに記入させ る。 ・教科書 p 15 と p 20 縄文時代と弥生 時代の絵を拡大したものを見せる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代と弥生時代のむらの暮らしの絵を見比べて、どう変化しているか、気付いたことをノートに書く。 ・稲作をピックアップする。 	班	<ul style="list-style-type: none"> ・「違いの観点」を提示することにより、話し合いが進むようにする ・稲作（米作り）が行われていることに気付かせる。
		班	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人たちに説明できるように班で協力させる。
		個人	<ul style="list-style-type: none"> ・説明できない生徒がいた場合は、「稲作」「戦い」「くに（国）」の3つのワードをヒントにだす。
		全体	<ul style="list-style-type: none"> ・自らまとめたものと、全体で確認したものの両方をノートに書く。
	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代と弥生時代の生活に変化を説明する（ノート） 	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容に関する感想を書く。
	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・感想 		

(3) 板書計画

学習課題 道具の変化から人々の暮らしがどう変化していったのだろうか	<稲作が広まった後、世の中がどう動くようになったのか>							
<土器>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">稲作が広まる</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">貧富の差が生まれる</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">身分の差ができる</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">人々を支配する</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">戦いが起きる</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">周りの村を従える</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">くに（国）が出来る</td> </tr> </table>	稲作が広まる	貧富の差が生まれる	身分の差ができる	人々を支配する	戦いが起きる	周りの村を従える	くに（国）が出来る
稲作が広まる	貧富の差が生まれる	身分の差ができる	人々を支配する	戦いが起きる	周りの村を従える	くに（国）が出来る		
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">土器の違い</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">土器の違い</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">土器の違い</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">土器の違い</td> </tr> </table>	土器の違い	土器の違い	土器の違い	土器の違い	<まとめ>			
土器の違い	土器の違い	土器の違い	土器の違い					
弥生時代の様子	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;"> 弥生時代 絵 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・稲作 ・囲いがある ・倉庫がある など </td> </tr> </table>	弥生時代 絵	<ul style="list-style-type: none"> ・稲作 ・囲いがある ・倉庫がある など 					
弥生時代 絵	<ul style="list-style-type: none"> ・稲作 ・囲いがある ・倉庫がある など 							